

がん臨床研究事業を行っています！

『がん疼痛治療の施設成績を評価する指標の妥当性を検証する研究』

Special Project for Awareness and Relief of Cancer Symptoms (SPARCS)

研究実施期間／平成24年2月15日から平成25年3月31日(予定)まで

当院では、「厚生労働省科学研究(がん臨床研究)的場班」からの依頼を受け、全国で唯一、同班が実施する研究事業の協力施設となり、平成24年2月よりがん臨床研究事業を行っています。

この研究は、がん診療連携拠点病院などの施設ごとに、がんの痛みがどれくらい適切に取れているのかを明らかにすることを目的に行われています。また、痛みが取れることで患者さんの生活の質がどの程度良くなるのかを、合わせて調査しています。そのため対象となる患者さんには、痛みの状況のほかに、アンケート調査などにご協力をお願いすることがあります。

詳しくは、下記までお問い合わせください。

<問合せ先>

SPARCS本部 電話017(726)8111 内線9362 担当:齋藤 勝(内線9117)、山下 慈(内線9326)

	氏名	所属	分担内容
研 究 者	的場 元弘	国立がんセンター中央病院 緩和医療科	がん疼痛治療の施設成績としての除痛率の検討
	吉田 茂昭	青森県立中央病院	がん診療連携拠点病院における除痛率の評価
	武林 亨	慶應義塾大学 医学部公衆衛生学	患者・市民にとってのがん疼痛治療情報の有用性
	秋山 美紀	慶應義塾大学 総合政策学部	
	東 尚弘	東京大学大学院 医学系研究科 健康医療政策学公衆衛生学教室	除痛率の治療評価指標としての妥当性
	吉本 鉄介	社会保険中京病院 緩和支援治療科	除痛率測定臨床試験プロトコルの妥当性
	富安 志郎	長崎市立市民病院 緩和ケアチーム	除痛率と院内医療用麻薬消費量の関連性
	宮下 光令	東北大学大学院 医学系研究科 保健学専攻緩和ケア看護学分野	除痛率とQOLの関連性
	加藤 雅志	国立がん研究センター がん対策情報センターがん医療支援研究部	がん診療連携拠点病院と緩和ケア提供体制
	岩瀬 哲	東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部	データセンターの構築とデータマネジメント
山口 拓洋	東北大学大学院 医学系研究科 医学統計学・医学情報管理学	データの解析	

院 内 研 究 担 当 者	責任者	齋藤 勝	緩和ケアチーム 緩和医療科医療顧問
	実務担当者	山下 慈	緩和ケアチーム 緩和ケア認定看護師
		吉田 慎太郎	緩和ケアチーム 薬剤師
		小笠原 佑介	経営企画室
		協力者	鈴木 克治
		佐々木 聡	緩和ケアチーム 緩和医療科副部長
		植村 康子	緩和ケアチーム 看護部次長
		越後 雅子	緩和ケアチーム 外来班総括主幹看護師
		廣瀬 公美	緩和ケアチーム 緩和ケア認定看護師
		塩崎 佳友	緩和ケアチーム 薬剤師

